

映画祭プログラム

9:45~ 開場

10:00~ 第一部 作品上映



**長編グランプリ**  
作品名/「ドブ川番外」



**審査員賞**  
作品名/「あくまのきゅうざい」

13:00~ 第二部 作品上映



**審査員特別賞**  
作品名/「僕の秘密の東京」



**準グランプリ**  
作品名/「なみぎわ」



**短編グランプリ**  
作品名/「路上ライブ」



**短編グランプリ受賞 主演・世界晴太郎さんミニライブ**

○世界晴太郎さんコメント  
良い歌とかじゃないとかどうでも良い、自己満足を買っているか?耳にきこえない事こそ大切なた歌自体がどうか、歌詞がどうかそういう話じゃない。生き方ですよ。  
横浜駅の路上で歌い初めて、オーストラリアをギター一本旅、現在はプロを目指して東京のライブハウスを中心に活動中の世界晴太郎の生き様をみてくれ。

15:00~ 第三部 パネルディスカッション「地域と映画の可能性について」

映画/映像の最前線にいる方々をお招きしてパネルディスカッションを開催いたします。



□映画プロデューサー  
**高 秀蘭**



□映画プロデューサー  
**大和田 廣樹**



□モデレーター  
Farmstay & Countryside Tourism  
株式会社取締役CEO  
**山内 絢人**



□経済産業省  
商務情報政策局  
コンテンツ産業課  
課長補佐  
**佐野 正太郎**



□映像ディレクター  
第14回JCF学生映画祭  
短編部門準グランプリ  
**長尾 淳史**

「YAMAIRO GUEST HOUSE」

〒395-0814 長野県飯田市八幡町2035  
JR飯田線 伊那八幡駅より徒歩4分

<http://yamairo-gh.com>



全国から学生映画が集結!

**第15回**  
**JCF学生映画祭**  
in  
**NAGANO** 夢への旅の途中。。。



**飯田プログラム**

表彰式・受賞作品上映会・パネルディスカッション

□日時/2019年 3月2日(土) 10:00~

□場所/「YAMAIRO GUEST HOUSE」

長野県飯田市八幡町2035 JR飯田線 伊那八幡駅より徒歩4分

主催 JCF学生映画祭実行委員会  
企画制作 Farmstay & Countryside Tourism 株式会社  
後援 長野県、飯田市、長野朝日放送、TSBテレビ信州、読売新聞長野支局、  
FM軽井沢、FMぜんこうじ、飯田ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、  
飯田センゲキシネマズ、長野放送、有限会社関島水引店



[www.jcf.jpn.com](http://www.jcf.jpn.com)



# 15回目の記念となるJCF学生映画祭の 飯田市での開催にあたって

このたびは、飯田市の後援を頂き、<学生映画の甲子園>として、<次代を担う才能の発掘と育成>をキーワードに1999年から開催して参りました<JCF 学生映画祭>が、記念すべき15回目を迎えることができましたこと、大変有り難く、実行委員会及び事務局一同、深く感謝申し上げます。飯田市の関係各位、飯田市民の皆様、誠にありがとうございます。

本映画祭は、第1回目の夕張市での開催から、15回目の節目を迎えることができました。これもまた、ご参加いただいた学生映画監督の皆様、ご支援いただいた自治体の皆様、ボランティアの皆様、スポンサーの皆様、その他各地でご協力いただきました関係各位のおかげであり、この場をお借りいたしまして、あらためて厚く御礼申し上げます。

本映画祭のテーマでもありますように、学生は将来を担う大切な宝です。実行委員及び事務局一同、彼らと夢を共有し、ここ飯田市から日本に元気を発信していきたいと考えております。

第15回 JCF学生映画祭実行委員会

## 開催概要

名称	第15回JCF学生映画祭in Nagano 飯田プログラム
開催日	2019年3月2日(土)
開催場所	YAMAIRO GUEST HOUSE
主催	JCF学生映画祭実行委員会
御来賓	経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐 佐野 正太郎
実行委員長	高 秀蘭(映画プロデューサー)
実行委員	大和田 廣樹(映画プロデューサー) 山内 殉人 (Farmstay & Countryside Tourism株式会社代表取締役CEO) DAVID小泉(株式会社TARGET取締役) 福田 真之 (TheJapanProject株式会社取締役社長COO) 太田 雅人 (JCF学生映画祭ファウンダー、株式会社GETTI代表取締役)
顧問	飯田市長 牧野 光朗、長野県観光部長 熊谷 晃
運営	JCF学生映画祭運営事務局
企画制作	Farmstay & Countryside Tourism株式会社
スポンサー	飯田市、エルムスユニテッド動物病院グループ
後援	長野県、飯田市、長野朝日放送、TSBテレビ信州、読売新聞長野支局、FM軽井沢、FMぜんこうじ、飯田ケーブルテレビ、飯田センゲキシネマス、信濃毎日新聞社、長野放送、有限会社関島水引店
協力	有限会社NEW WAVE、株式会社ドリームキッド、株式会社TARGET、The Japan Project株式会社

第15回 JCF学生映画祭運営事務局 〒107-0062 東京都港区南青山2丁目22番22号 青山安田ビル7階  
TEL : 03-5775-0666 FAX : 03-3582-0680  
MAIL : info@target-inc.jp



## JCF学生映画祭の軌跡

<p><b>第1回</b> ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 10周年特別協賛企画 第1回JCF学生映画祭 ★1999年2月21日 ★夕張市民会館特設ホール [受賞監督] ★グランプリ「The Fates〜フェイツ」 監督:飯島 明(東京学芸大学) ★準グランプリ「CAFE:ON THE NIGHT」 監督:小野寺 圭介(北海学園大学)</p>	<p><b>第2回</b> ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 協賛企画 第2回JCF学生映画祭 ★2000年2月19日~20日 ★夕張市民会館シネサロン [受賞監督] ★グランプリ「素人娘(秘)マッサージ」 監督:那雲 哉治(早稲田大学 第二文学部) ★準グランプリ「ヒコキキ雲」 監督:花見 正樹(関西大学 工学部)</p>	<p><b>第3回</b> ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 協賛企画 第3回JCF学生映画祭 ★2001年2月16日~17日 ★夕張市民会館シネサロン [受賞監督] ★グランプリ「鶴譚」 監督:仲井 陽(早稲田大学 社会科学部) ★準グランプリ「帰ってきたあいつ」 監督:松川 さやか(大阪芸術大学 映像学科)</p>
<p><b>第4回</b> 第4回JCF学生映画祭 in 沖縄 ★2002年7月3日~7日 ★那覇市りうぼうホール [受賞監督] ★グランプリ「さくらの夢」 監督:木村明子(日本大学) ★準グランプリ「床下水面下」 監督:斎藤ゆふき(武蔵野美術大学)</p>	<p><b>第5回</b> 第5回JCF学生映画祭 in お台場 大江戸温泉 ★2004年3月20日 ★大江戸温泉 [受賞監督] ★グランプリ「バラノイア」 監督:月川 翔(成城大学 法学部) ★準グランプリ「LOVE JACK」 監督:有田 豊広(慶應義塾大学 環境情報学部)</p>	<p><b>第6回</b> 第6回JCF学生映画祭 in 愛地球博 EXPO ★2005年3月31日 ★愛地球博 EXPOホール [受賞監督] ★グランプリ「充電」 監督:松本明子(日本大学芸術学部) ★準グランプリ「たれたれ」 監督:金澤麻由子(京都嵯峨芸術大学)</p>
<p><b>第7回</b> 第7回JCF学生映画祭 ★2006年9月23日~24日 ★東京国立博物館 [受賞監督] ★グランプリ「シェアリング」 監督:清水聡(大阪芸術大学卒) ★準グランプリ「このほり」 監督:辻下直美(慶応義塾大学卒)</p>	<p><b>第8回</b> 夕張国際学生映画祭2007 ★2007年2月25日~28日 ★夕張市 ホテルシュエパロ [受賞監督] ★国際学生映画コンペティション グランプリ 「HAPPY NEW YEAR」 監督:イスマエル Michal Hagi ★夕張Students' Conception グランプリ 「チーム[SONTRY]」 監督:坂本達夫、松村草也(東京大学)</p>	<p><b>第9回</b> 夕張国際学生映画祭2008 国内学生映画AWARD ★2009年2月22日~24日 ★夕張市 ホテルシュエパロ [受賞監督] ★グランプリ「少年少女」 監督:小栗はるひ ★準グランプリ「true tune」 監督:初野一英</p>
<p><b>第10回</b> 第10回JCF学生映画祭 in Tottori ★2011年11月19日~20日 ★米子コンベンションセンター [受賞監督] ★映画部門グランプリ「HOLD UP」 監督:斎藤弘明 ★アニメ部門グランプリ「街を背負う男」 監督:井上有希</p>	<p><b>第11回</b> 第11回JCF学生映画祭 in Tottori ★2012年9月14日~15日 ★米子コンベンションセンター [受賞監督] ★学生映画アワード「波紋」 監督:斎藤弘明(早稲田大学院) ★学生アニメアワード「夜から来た人たち」 監督:摩浩子(東京芸術大学大学院)</p>	<p><b>第12回</b> 第12回JCF学生映画祭 in Tottori ★2013年10月14日 ★米子コンベンションセンター [受賞監督] ★学生映画アワード「漁火」 監督:沢田啓吾(日本映画学校卒業) ★学生アニメアワード「LIFE LINE」 監督:西村丞二(デジタルハリウッド大学3年) ★学生マンガアワード「さだこさんのおんがえし」 幸村佳苗(宝塚大学)</p>
<p><b>第13回</b> 第13回JCF学生映画祭 in 山形 [グランプリ作品] ★短編部門「陽だまりの花」 監督:相馬寿樹(日本大学芸術学部(4年)[相馬組]) ★長編部門「麻子タマとわたし」 監督:高杉麻子(日本大学芸術学部卒) ★高専・高専生部門「道化師の悪戯」 監督:映画研究部 上野瑛介(国学院高校(3年))</p>	<p><b>第14回</b> ウォ・コーポレーションpresents 第14回JCF学生映画祭 ★短編部門グランプリ「キミの隣のボクへ」 監督:小林令奈(慶應義塾大学) ★短編部門準グランプリ「マインドギア」 監督:長尾厚史(立命館大学) ★長編部門グランプリ「灰色の青春」 監督:天野友二朗(鳥取大学大学院) ★長編部門準グランプリ「WILL」 監督:土井笑生(龍谷大学)</p>	

## 第15回JCF学生映画祭in長野

### 松本プログラム

日時：2018年12月1日(土)  
場所：信州大学松本キャンパス  
内容：長野県観光光インスタアワード  
長野県ドローンショートフィルムコンテスト

### 飯田プログラム

日時：2019年3月2日(土)  
場所：YAMAIRO GUEST HOUSE  
内容：学生映画アワード部門 表彰式 / 作品上映  
パネルディスカッション「地域と映画の可能性」

## 過去受賞監督の活躍

第2回大会グランプリ受賞	那雲哉治監督	映画「暗黒女子」、映画「刀剣乱舞」
第5回大会グランプリ受賞	月川翔監督	映画「君は月夜に光り輝く」、映画「君の臍臓を食べたい」
第7回大会グランプリ受賞	清水聡監督	映画「灰色の鳥」
第13回大会グランプリ受賞	相馬寿樹監督	ABC-EX「声ガール」

このほかの  
監督達もそれぞれの  
各方面で頑張っ  
ています!

## 顧問



### 飯田市長 牧野 光朗

「第15回JCF学生映画祭inNAGANO」の当市開催を、心から歓迎申し上げます。飯田市は、名勝天龍峡、元善光寺、遠山郷をはじめとした観光資源や、代々伝えられてきた伝統芸能が盛んなまちです。また、これらに携わる市民の皆さんの多様な取組みが特長です。今回は入賞監督へのスカラシップとして、飯田市のブランディングCMの制作をお願いしていますが、この機会に飯田を知っていただき、若い感性で発信していただけることをうれしく思っております。

JCF学生映画祭のご成功を心から祈念いたします。

#### プロフィール

早稲田大学政治経済学部卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。同フランクフルト首席駐在員、大分事務所長を経て、2004年飯田市長就任、四期目。現在、南信州広域連合長、全国市長会副会長(地方創生担当)、経済財政諮問会議専門調査会「経済・財政一体改革推進委員会」専門委員(内閣府)、教育再生実行会議高校改革ワーキンググループ委員(文部科学省)、定住自立圏構想の推進に関する懇談会委員(総務省)、休眠預金等活用審議会委員(内閣府)、AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)副会長。大学の教授・学生の要望を受け、平成28年2月に自身の編著書「円卓の地域主義―共創の場づくりから生まれる善い地域とは―」を刊行。

## 顧問

### 長野県観光部長 熊谷 晃

- 1984年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業 長野県職員に
- 同年 下伊那地方事務所税務課、長野県人事委員会、総務部人事課に所属
- 1991年 経済企画庁(現内閣府)調査局海外調査課へ出向(ヨーロッパ班長)、「月例経済報告」「世界経済白書」など執筆
- 1994年 長野県庁総務部秘書課(知事秘書)
- 1998年 財政課、国際課、上小地方事務所商工課、農政部農業政策課に所属
- 2009年 衛生部病院事務局課長補佐。県立5病院の地方独立行政法人化に着手
- 2010年 地方独立行政法人長野県立病院機構本部事務局次長兼経営企画課長→県立病院を独立行政法人化へ
- 2011年 同事務局次長兼財務課長
- 2012年 観光部信州ブランド推進室長
- 2013年 3月 「信州ブランド戦略」策定
- 2014年 2月 「信州首都圏総合活動拠点～しあわせ信州シェアスペース～実施計画」策定
- 2014年 4月 長野県東京観光情報センター所長。銀座NAGANOの開設に着手
- 同年 10月 信州首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～」所長
- 2016年 4月 長野県東京事務所長
- 2017年 4月 現職

## 実行委員長

### 実行委員長／映画プロデューサー 高 秀蘭

台湾テレビのプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年ニューウーブを設立。以降、中国語圏の優れた監督の製作・配給に関わってきた。カンヌ映画祭グランプリを受賞した台湾の侯孝賢(ホウ・シャオ・シェン)監督の「非常都市」(1988年)、「戲夢人生」(1991年)のプロデュースを始め、中国の張芸謀(チャン・イーモウ)監督の「紅夢」(1991年)、「活着」「上海ルージュ」(1995年)、「何平」(ハー・ピン)監督の「哀愁花火」のポストプロダクションを努めた。陣凱歌(チェン・カイコー)監督とは「さらば、わが愛／霸王別姫」(1993年／カンヌ映画祭パルムドール受賞)、「花の影」(1996年)「始皇帝暗殺」(1998年)、「鳳凰わが愛」(2008年)、新宿インシデント(2009年)のプロデュースを手掛ける。

## 実行委員

### 実行委員／Farmstay & Countryside Tourism(株)代表取締役CEO 山内 純人

1988年長野県飯田市生まれ。長野県立飯田高校、東京大学法学部卒。ロンドンビジネススクール・ファイナンス修士号、ケンブリッジ大学・企業法修士号取得。2011年財務省入省、財務省国際局(G7/G20/IMF関連政策を担当)、主計局(財政関連法規を担当)を経て退職。イギリス留学中の2017年、ロンドンの学生128人を地元長野県飯田市に招いて農家民泊を実施した経験をもとに、特に外国人観光客を対象として、体験型観光としての農泊およびゴールデン・ルート以外の地方周遊旅行を推進すべく、インバウンド&アウトバウンド事業を行っている。地域独自の魅力を掘り起こし、地域と世界と直接つなぐ「グローバル・イノベーター」として活動。各種インバウンド・アウトバウンド事業のアドバイザーを行う他、地元長野県飯田市とのコラボレーションも広く行う。クールジャパン協議会代表理事。

## ご来賓

### 経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐 佐野 正太郎

早稲田大学大学院法務研究科修了後、2011年経済産業省入省。現職では、映画をはじめとするコンテンツの海外展開の支援のほか、映像コンテンツの資金調達手法の多様化、VR・ARなどの先進コンテンツの普及促進等に取り組んでいる。飯田市生まれ。

## 実行委員

### 実行委員／映画プロデューサー 大和田 廣樹

大学卒業後、メディア関連のコンサルタント業務を経て、96年に株式会社インターネット総合研究所(IRI)の設立に参画。同社は、99年に東京証券取引所マザーズ市場の第1号として上場する。02年、IRIのデータセンター小会社の株式会社ブロードバンドタワー(BBT)の社長に就任。03年ブロードバンドユーザー向けのドラマを製作するネットシネマ事業を開始し、「D-5 Project」として林海象監督と「探偵事務所5」シリーズを共同プロデュースする。また、映画プロデューサーとしても「もんしえん」(06)、「松ヶ根乱射事件」(06)、「ドルフィンブルーフジ、もういちど宙へ」(07)、「寄子」(08)、「ぐるりのこと。」(08)、「ニセ札」(09)、「THECODE/暗号」(09)などを手掛けている。現在は、活動の中心を台湾、中国に移し、日台合作テレビドラマ「木蘭花」のプロデューサー。2011年6月には台湾に中国映画市場へ本格進出するために大唐国際娛樂股份有限公司を設立。中日韓台の合作映画やテレビドラマの企画に取り組んでいる。

## 実行委員

### 実行委員／(株)TARGET取締役 DAVID 小泉

1982年 3月6日 チリ、サンティアゴにチリ人の母親と日本人の父親との間に生まれる。21歳の時にモデルとして活動を始め、MEN'S NONNO、smart、MEN'S JOKER、smartMAX(現MonoMax)、POPEYE、Suite Catarogなど数多くのメンズファッション雑誌を始め、ファッションブランドのカタログや広告、CMなど様々な媒体で活躍。

## 実行委員

### 実行委員／TheJapanProject(株)取締役社長COO 福田 真之

1994年長崎県佐世保市生まれ。長崎県立佐世保北高校卒、東京大学法学部卒業見込。幼少期から青年期まで、地元長崎の豊かな海の幸、山の幸に囲まれながら過ごす。大学時代は学生議論団体に積極的に取り組む。「FICS(フィックス)」「ソウル大学と東京大学学生の有志団体」、「京論壇」(北京大学と東京大学学生の有志団体)に参加し、東大側の副代表として団体の運営全般を統括する。活動を通じて、海外における日本のイメージが、アニメやJPOPなどのサブカルチャー、あるいは「フジヤマ、キョウト」など表面的・断片的にしか認知されていないことを実感し、もどかしさを感じる。故郷の長崎、ひいては日本全体をもっと盛り上げたいという思いから官徳の道を一時的にも、世界の人々により深く日本の魅力を知ってもらいたいという自分自身の思いについて、最もダイレクトに、かつ最短距離で実現可能なベンチャーの道を選ぶ。現在、代表取締役山内と志を共有し、地方へのインバウンド&アウトバウンド事業を行っている。

## 実行委員

### 実行委員／JCF学生映画祭ファウンダー／(株)GETTI代表取締役 太田 雅人

1965年大阪生まれ。大阪府立大手前高校卒。関西学院大学経済学部卒。(株)GETTI代表取締役。1986年、大学在学中に企画やマーケティングの学生ビジネス集団を設立し、大学卒業後にNECを経て1992年に後進達と株式会社ゲッティとして法人化。以降、大手企業クライアントや自治体のブランディングや活性化支援を行う傍らメディア開発、事業開発、事業投資を行う事業会社を設立。創業30周年を機に2016年医療事業に参入し、東京大学医学部附属病院とのiPS細胞の共同研究を行う。(株)神戸医療特区内One Medicine, One Healthセンターを設立。現在理事長。現在はブランディング事業、マーケティング事業、建築デザイン事業、アパレル事業、動物病院運営事業、iPS細胞の研究のメディカル事業の6つの事業領域を行うGETTIグループの代表。

## コラム:映像を活用した新たなプロモーション手法「ブランデッド・コンテンツ」とは

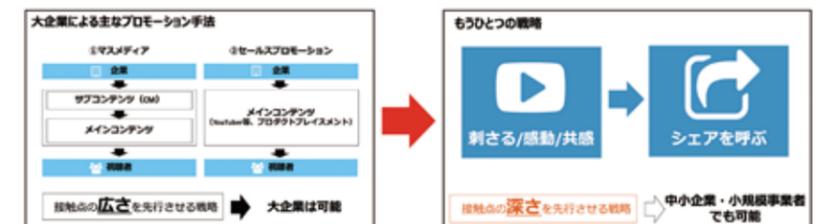
アジア最大級の国際短編映画祭を主宰し、メッセージ性の強いドキュメンタリーや企業のブランディングのための映像制作の支援も行っている俳優の別所哲也さんは、コーポレート・ブランディングについて次のように話します。

「年商数百億円の大企業でなくても、小さな企業や、地方で長年がんばっている老舗が、ブランディングのための映像を制作し、インターネットで配信することで、自分たちの物語、自分たちのプロダクト、自分たちのサービスを、世界中に発信できる。そして、それをビジネスに変えていくことができるんです」

近年、企業や自治体のプロモーションにおいて、映像によってその団体の経営哲学・魅力などのストーリーを顧客や消費者に伝えて共感や感動を呼び起こすことで、短期的な観光PRにとどまらず、団体のイメージアップを図り、企業・地域の認知向上や採用活動の強化などにつながっていく動きがあります。こうしたブランディングのためのコンテンツを「ブランデッド・コンテンツ」と呼び、その制作は、コンテンツ制作者側からは、自らのクリエイティビティを発揮して他産業の事業者と共同制作を行うものであり、コンテンツ産業の裾野自体を広げる新たなビジネスモデルともみる

ことができます。こうした考えのもと、本年度、経済産業省では、コンテンツ産業全体のバイの拡大の観点から、この「ブランデッド・コンテンツ」の普及のため、映像を活用したブランディングを希望する企業とコンテンツ制作者のマッチング支援等を行なっています。

多様なメディアにおいて、ストーリー性を重視し、視聴者の心に訴えかける映像表現が可能になった今、従来型のCM映像より少ない予算でも十分に訴求力のある映像を制作・発信できるようになりました。こうした「ブランデッド・コンテンツ」の確立は、飯田の持つ魅力を「飯田から世界へ」広く発信していくときのカギの一つではないでしょうか。



## 受賞作品

### 短編グランプリ 大林 泉輝(桜美林大学) 作品名「路上ライブ」



□あらすじ  
横浜駅前にて、ハタチ、駆け出しのシンガーソングライター「世界晴太郎」の路上ライブがスタートする。彼の前を何人という人が通り過ぎていく中、真冬の路上で歌い続ける彼の姿に足を止める人がある。なぜか彼は「なぜ彼は歌っているんだらう」「なぜこの人は立ち止まるのんだらう」という単純な疑問から生まれた人物ドキュメンタリー。



□監督コメント  
2017年、最も流行したとされる言葉に選ばれたのは「インスタ映え」でした。ポタン1つで世の中に笑いかけることができる。ここで頑張っているよと訴えることができる。そんな自己表現の方法が多様化した今、ギター1本、Tシャツ1枚で歌う彼の姿にカメラを向けることで、改めて自己表現とは何かを考えたかった。表現って一体、誰のためにあるものなのか。

□監督プロフィール  
大学在学中からドキュメンタリー制作を始めた新参者。ドキュメンタリーを撮りたいという仲間が大学でできず、泣く泣く1人で制作することに。制作していく中で1人で撮ることの利点にも気づき、そこをどこまで追求しようかと悩んだ。大学最後に挑んだ今作では、良い子ぶるのも背伸びも止めて、二十歳そこらの今しかない何か今にも爆発してしまいうる危うさを秘めたパワーを作品にしたかった。

### 長編グランプリ 渡邊 安悟(大阪芸術大学) 作品名「ドブ川番外地」



□あらすじ  
数年前に自殺した友の死を受け入れられぬまま、無為な日々を送っている引き篭り青年・増村辰巳は、ある夜、両親の自分とて諍う声にウンザリし、ふらりと家出する。あちこち歩き回り迷い込んだ街で、浮浪者親父・土川土郎と出会い、彼の家で暮らし始めることとなる。飄然として何事にも拘らぬ性格の土川と過ごすうち、辰巳は段々と笑顔を取り戻して行く。



□監督コメント  
僕自身の体験を誇張し、ファンタジーを織り交ぜながらエンターテインメントとして仕上げました。頭の中にある言語化不能なテーマを脚本に込めて、がむしやらに映画と向き合いました。日々孤独を感じている人や、自由を夢見る人たちに、是非観ていただきたいです。当時の僕のすべてが詰まっています。

□監督プロフィール  
1994年生まれ、大阪府出身。大阪芸術大学映像学科に進学後、大森一樹氏のもとで映画制作を学ぶ。劇映画や実験映像を含め、十数本の映画を自主制作して演出。監督・脚本・編集を務めた卒業制作「ドブ川番外地」が初長編映画となる。現在は東京藝術大学大学院映画専攻にて、黒沢清氏や諏訪敦彦氏に師事する。

### 準グランプリ 常間地 裕(多摩美術大学) 作品名「なみぎわ」



□あらすじ  
高校卒業をまじかに控えた大吾(18)と、高校に通うことのできなかつた大翔(18)は小さな港町で暮らしていた。友達である2人にとっての何気ない日常が、これからの2人にとって特別な1日へと変わっていく。大人と子供、その間で揺れながら生きる2人の物語。



□監督コメント  
大人と子供とがその境目があるのだから、そんな事を考えてこの映画を考えました。それは今もよく分からないし、これからは分からないままなのかもしれないけれど、この映画のおかげで前に進めたい気持ちです。この大切な小さな映画が観た人の心に届きますように。

□監督プロフィール  
●1997年神奈川県生まれ。2015年から俳優活動開始。●出演作に、映画「君の笑顔に会いたくて」木崎竜也 役 ●ドラマ「時をかける少女」クラスメイト 常間地裕 役 等 ●2016年4月 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科入学(在学中3年生) ●2017年9月 映画美学校フィクションコース初等科(21期)入学 ●2018年9月 映画美学校 フィクションコース初等科(21期)修了 ●本作が初監督作品。

### 審査員特別賞 王 奔(東京放送芸術&映画、俳優学院専門学校) 作品名「僕の秘密の東京」



□あらすじ  
悲しい過去を持ち、大都会東京で孤独を感じていた台湾人の李は、高雄から観光にやってきた韓と出会う。不快な体験をして東京に不信感を抱いた韓を、李の「秘密の東京」へ連れていくことで、二人の関係も変わっていく。



□監督コメント  
東京はとても魅力的な大都会です。毎年世界中の観光客がいっぱい来ます。みんなの視線を感じた東京の風景や雰囲気もそれぞれだと思います。この短編映画を通して海外の方々に東京の美しさを発信したいと思います。

□監督プロフィール  
1990年中国河南省生まれ。2016年東京放送芸術&映画俳優専門学校入学。東京を中心に映画制作を行う。ショートショートフィルムフェスティバル&ASIA2018、松本映画祭プロジェクト第10回商店街映画祭入賞/渋谷TANPEN映画祭CLIMAXat佐世保ベスト10作品入賞、監督賞ノミネート/第一回フェローズフィルムフェスティバルノミネート/中国・アジア旅映画テレビ映像祭国際番組部門優秀賞受賞。

### 審査員賞 三重野 広帆(立教大学) 作品名「あくまのきゆうさい」



□あらすじ  
子供が親を殺害する事件が連続して発生する。刑事の井上は不可解な親殺しの捜査を担当するが、人間の闇を描いた重厚なサイコススペンス。



□監督コメント  
親が子を殺す。子が親を殺す。そんなニュースばかりを見て育ててきました。「最近の親子はおかしい」と聞き続けて早20余年。いや、きっとこれは人間の本性なのだ、と思い映画にすることを決めました。自分なりに「家族」という普遍的で壮大なテーマに全力で挑みました。難産でしたが自慢の作品です。楽しんでください。

□監督プロフィール  
立教大学映像身体学科卒。ギークビジュアルズ所属。監督作品「プレイジャリズム」は新人監督映画祭準グランプリを受賞。「私の夢」でNHKミニミニ映像大賞視聴者イチオシ賞受賞。「潜入!アイドル自宅訪問」でNHKミニミニ映像大賞グランプリ受賞。「あくまのきゆうさい」でKisssh-kissssssh映画祭2018長編部門グランプリ、第10回日本芸術センター映像グランプリ優秀映画賞を受賞。

## 入選 14作品

- 四本研祥(東京外国語大学)
- 油原和記(多摩美術大学)
- 藤本匠(武蔵野美術大学)
- 田中大貴(日本大学)
- 清水翔太(東京造形大学大学院)
- 吉田麻希(新潟大学)
- 武石昂大(日本大学)
- 寺谷千穂(浜松医科大学)
- 瀧源裕仁(大阪大学)
- 吉岡純平(放送芸術学院専門学校)
- 熊浦聖奈(埼玉県立芸術総合高等学校)
- 松崎光博(東北芸術工科大学)
- 廣賢一郎(大阪大学)
- 西島瑞紀(早稲田大学)

- 作品名「待つには遠すぎた初恋」
- 作品名「MOWB」
- 作品名「バカヤロウの背中」
- 作品名「FILAMENT」
- 作品名「がんばれ!よんべーくん」
- 作品名「バンクロックベイビー」
- 作品名「おるすばんの味。」
- 作品名「それでも、洗う」
- 作品名「あお」
- 作品名「hina」
- 作品名「灯火」
- 作品名「鮭川 カミ昇る川」
- 作品名「あの群青の向こうへ」
- 作品名「きらきら星変奏曲」

応募総数  
134作品

審査員長 高 秀蘭(映画プロデューサー)  
審査員 大和田 廣樹(映画プロデューサー)  
太田 雅人(JCF学生映画祭ファウンダー、(株)GETTI代表取締役)

## 今年度のJCFスカラシップ

JCF学生映画祭では優秀な学生監督に対し、次回作の支援を行う「スカラシップ制度」に力を入れています。今年度のスカラシップは、飯田市様/エルムスユナイテッド動物病院グループ様支援の元、3名の監督が新たな作品制作に挑みます!映画祭自体が優秀な監督をプロへとステップアップさせるステージとして機能します。今回のスカラシップの一つである飯田市ブランディングCM制作では、飯田の持つ魅力を「飯田から世界へ」広く発信していくにあたって、経産省が支援する「ブランデッド・コンテンツ」(4ページコラム参照)を実際に制作(なお、制作の過程では、「ブランデッド・コンテンツ」の考え方に従い、ワークショップの開催・地元アドバイザーの招聘などにより、飯田市の方々に企画段階からコミットしてもらいます)・活用することにより、飯田市のブランディングを効果的に行っていくことを狙っています。まさに、国の施策とも連動した、飯田プロモーションのための新たな試みともいえます。

### 「飯田水引」をテーマに飯田市ブランディングCM制作



飯田水引は、飯田で何世代にも渡って伝え続けられてきた伝統工芸です。強く丈夫な和紙でつくられた良質な水引は、日本古来の伝統的風習に用いられる、雅やかにして美しさを象徴するもので、元禄時代からの伝統的な手法による生産を継承しながら全国に出荷し、現在、全国の70%の水引製品を生産しています。1998年の冬季オリンピック・パラリンピックが長野県で開催された際、パラリンピック入賞者には、飯田の水引で作られた月桂樹冠が授与され、参加選手、役員、海外報道関係者にも、記念品として、水引細工が贈与され、世界に水引の名前が知られるようになりました。



審査員特別賞 王 奔 スカラシップパートナー:飯田市  
(東京放送芸術&映画、俳優学院専門学校) アドバイザー:有限会社関島水引店 代表取締役社長 関島 正浩 様

### 「航空機産業」をテーマに飯田市ブランディングCM制作



平成18年から当地域では、航空機産業の成長性と安定性に着目し、地域に集積している技術を生かしながら、地元企業と連携して航空機産業への参入に向けた活動を展開しています。これまで、「航空宇宙プロジェクト」や共同受注グループ「エアロスペース飯田」を組織化し、地域内の一貫生産体制の構築を図ってきたことや、(公財)南信州・飯田産業センターが「航空宇宙産業クラスター拠点工場」を建設して特殊技術の導入を進めてきました。そのほか、「アジアNO.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に参入し、企業の設備投資を促進するなど、全国でも特徴的な取り組みを行っています。なお、この春開所したエスパード(写真)は、南信州広域連合、長野県工業技術総合センター、信州大学、(公財)南信州・飯田産業センターなどが連携し、航空機産業をはじめとする飯田下伊那地域の産業の高度化、高付加価値化を実現するための施設であり、航空技術および地場産業に関する総合的な試験研究設備を備えるほか、信州大学航空宇宙システム研究センターの「航空機システム共同研究講座」の拠点として、共同研究や研究教育が行われています。



準グランプリ 常間地 裕 スカラシップパートナー:飯田市  
(多摩美術大学) アドバイザー:公益財団法人南信州・飯田産業センター専務理事 萩本 範文 様

### 「生命」をテーマに短編ドキュメンタリー映画を制作



生命と向き合う動物病院・獣医師や、絶滅危惧種保護等動物関連の短編ドキュメンタリー映画の制作。



スカラシップパートナー  
エルムス ユナイテッド 動物病院グループ  
ELMS UNITED Animal Hospital Group

短編グランプリ 大林 泉輝  
(桜美林大学)